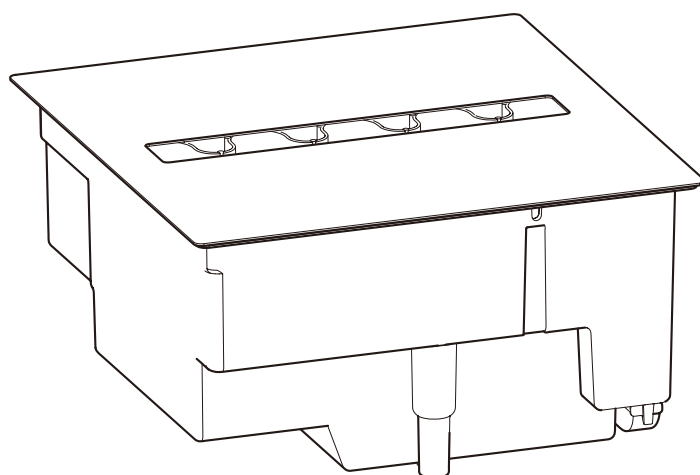


設置・取扱説明書 (保証書付)

CAS250J カセット250



ご使用の前に

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも取り出せる所に大切に保管してください。



もくじ

- 安全上のご注意 1
- 各部名称 4
- 内部部品名称 4
- 本体寸法・離隔距離 5
- 通気孔およびガラスシールドに関して 6
- 周囲仕上げに関して 7
- 運転前準備 8
- 運転のしかた 11
- レシーバーの位置移動に関して 14
- お手入れのしかた 15
- 運転上のご注意・保管のしかた・電源コードの点検 17
- 故障診断 18
- アフターサービス、仕様 20







【安全上のご注意】

■この製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害の発生を未然に防止するための重要な情報です。記載事項(図記号等による表示)を必ずお守りください。

■注意事項は、誤った取扱いで生じることが想定される危害や損害の大きさと切迫の度合いにより、「警告」「注意」に区分しています。

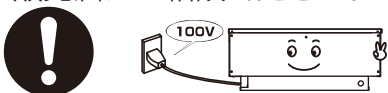
 警告	取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	取扱いを誤った場合、人が障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■図記号の例

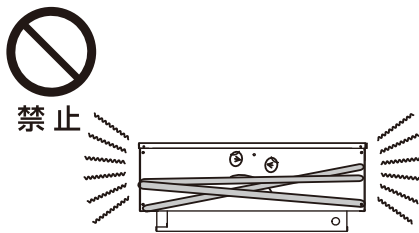
 の記号は注意(警告を含む)を促す内容を示しています。(右の図は高温注意)  高温注意	 の記号はしてはいけない内容を示しています。(右の図は分解禁止)  分解禁止	 の記号はしなければならない強制内容を示しています。(右の図は電源プラグからコンセントを抜く)  電源プラグをコンセントから抜く
---	---	--

警告

■電源は、100V コンセントから直接、専用電源アダプターを介して供給してください。タイマーなどの機器を間に介さないでください。付属の電源アダプターは、本製品専用です。必ず専用電源アダプターのみをご使用ください。交換が必要な場合は、販売店にご相談ください。

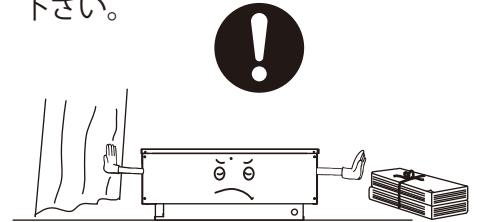


■電源コードを本体に掛けたり巻きつけたりしないでください。



熱でコードが傷み、感電や発火の原因になります。

■カーテンなどの可燃物と製品の間には1m以上の空間を設けて下さい。



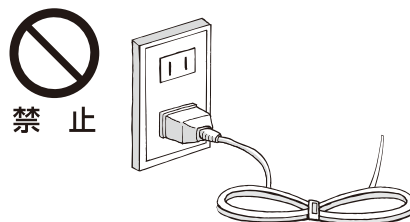
火災・変形・変色・故障等の原因になります。

■電源プラグはコンセントの根元までしっかりと差し込んでください。また、差し口のゆるいコンセントは使わないでください。



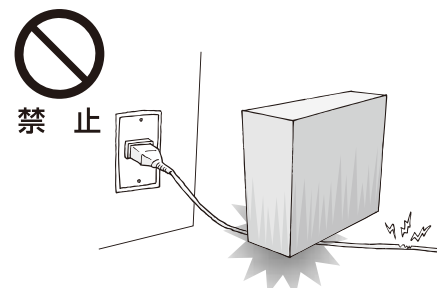
過熱により発火する恐れがあります。

■コンセントが近くにあってもコードの長さが余っても、絶対に束ねないでください。



コードの放熱ができず、過熱や発火の原因となります。

■コードに重いものを載せたり、傷付けたりしないでください。

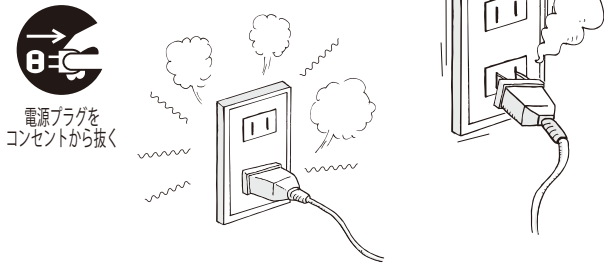


発火の原因となります。

- 電源コードが傷付くなどした場合は、直ちに使用を中止して電源プラグをコンセントから抜いて修理を依頼してください。
- また、次のような場合にも、直ちに使用を中止して電源プラグをコンセントから抜いて修理を依頼してください。

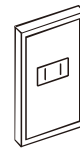
コードを動かすと電源が切れる。
(または、電源が入る)

コードやプラグが熱い。



誤った修理を行うと、発火や感電の恐れがあります。また、修理をせずに使用を続けると発火の恐れがあります。

- シーズンオフや長時間使用しない場合には電源プラグをコンセントから抜いてください。また、プラグとコンセントの表面に汚れがあれば除去してください。

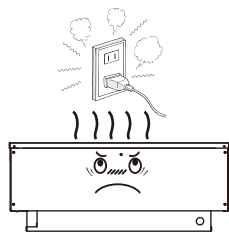


トラッキングによる発火や意図せぬ通電を防止するためです。トラッキングとはプラグの二つの刃の間が汚れ、湿気などによりショートすることです。

- コンセントのすぐ下で使用しないでください。



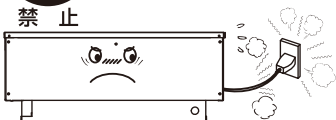
禁止



- コンセントのすぐそばでは使用しないでください。



禁止

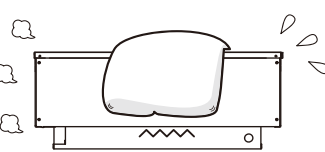


蒸気や熱で電源コードを傷め、火災の原因となります。

- 吹出口や吸込口を覆ったり、物を置いて通風を妨げたりしないでください。また、布団や洗濯物を掛けしないでください。



禁止

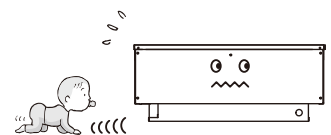


破損や過熱により火災につながる恐れがあります。

- この機器は、安全に責任を負う人の監視又は指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）が単独で危機を用いることを意図していません。
- この機器で遊ぶことがないように子供を監視することが望ましいです。
- 泥酔などで正常な判断ができない状態の方や操作に不慣れな方は、操作を行わないでください。また、幼児が操作をできない場所に設置ください。必ず操作方法や危険を理解した方が操作してください。



禁止



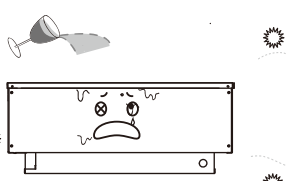
蒸気の吹出口に触るなどするとやけどの恐れがあります。

- 浴槽、シャワー及び水泳プールの周辺部で、この製品を使用しないでください。

- 水のかかるおそれのある場所や、湿度の高い場所に置かないでください。



水ぬれ禁止

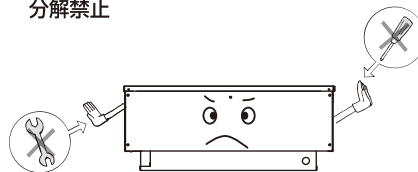


水滴の付着や結露により絶縁の劣化をもたらし、感電の原因となります。

- 修理技術者以外の方は、分解・修理を行なわないでください。



分解禁止

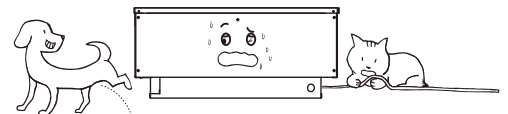


誤った修理を行なうと、発火や感電の恐れがあります。

- 犬・猫など、ペットがいるお部屋では使用しないでください。



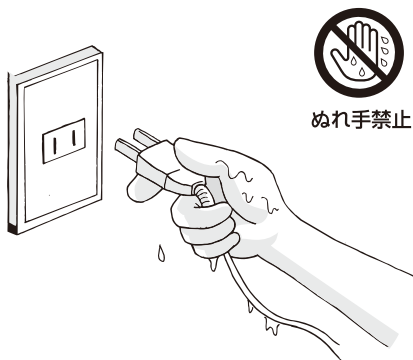
禁止



歯や爪で電源コードを傷付けたり、排泄物が絶縁劣化を起こして、発火の原因となります。

⚠ 注意

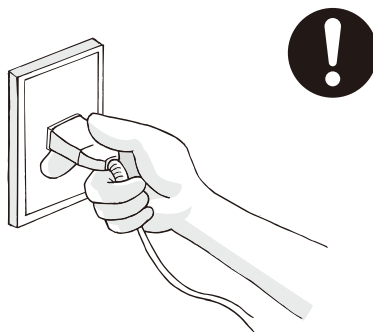
■ぬれた手で電源プラグの抜き差しやスイッチの操作を行わないでください。



ぬれ手禁止

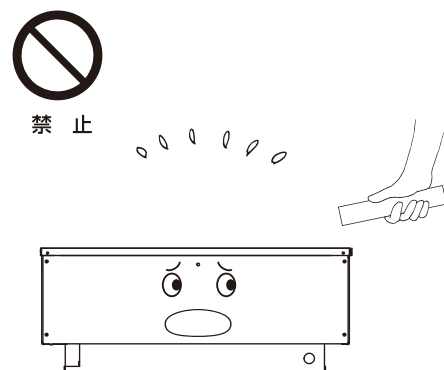
感電の恐れがあります。

■電源コードをコンセントから抜く場合には、必ずプラグを持って抜いてください。



コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷み、発火する原因となります。

■外装の隙間から、異物を差し込まないでください。



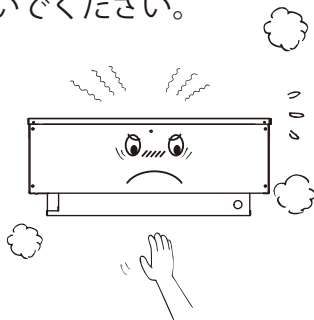
禁止

感電や故障の原因となります。

■蒸気の吹出口は高温になります。使用中には手で触れないでください。

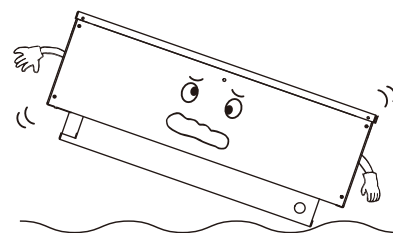


高温注意



幼児が触らないよう、注意願います。お手入れの際には、十分に冷えるまで触らないでください。

■据付は、水平で平らな場所に正しく置いてください。

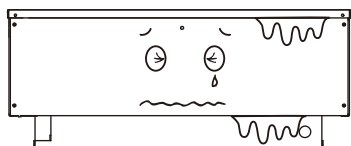


倒れるなどして内部で水が漏れると、故障や火災の原因となります。

■炎効果用の水を入れたまま本体を倒したり動かしたりしないでください。



禁止

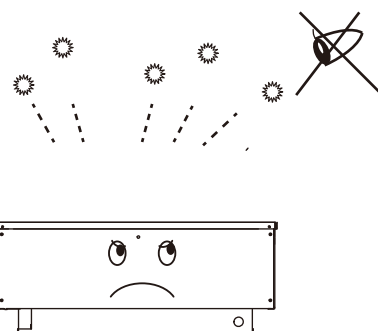


内部で水が漏れると、故障や火災の原因となります。

■運転中は、吹出口の中を覗き込まないでください。



覗込み禁止

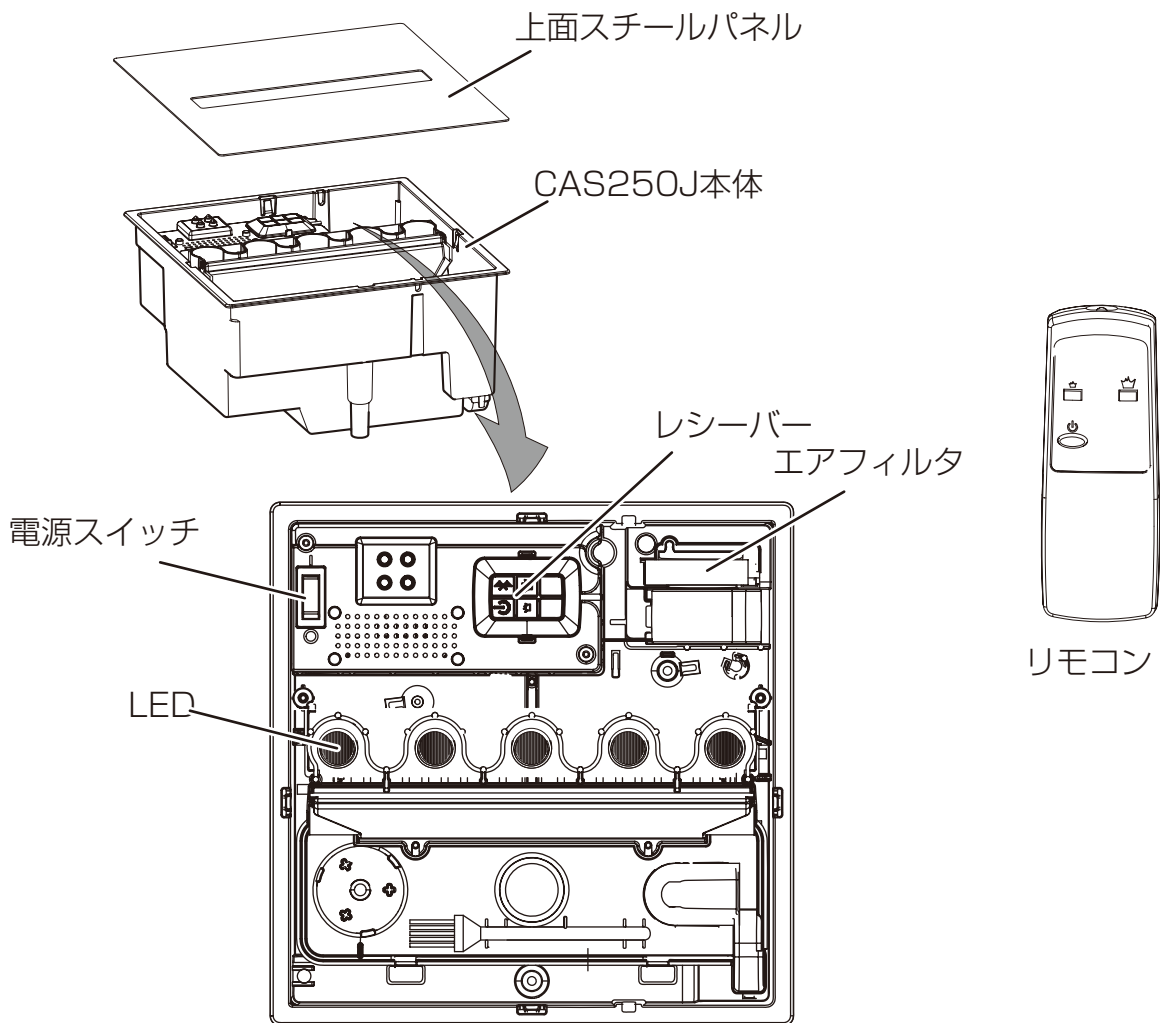


内部LEDが眩しく発光しております。お手入れの際には、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、各部が十分に冷めてから行ってください。

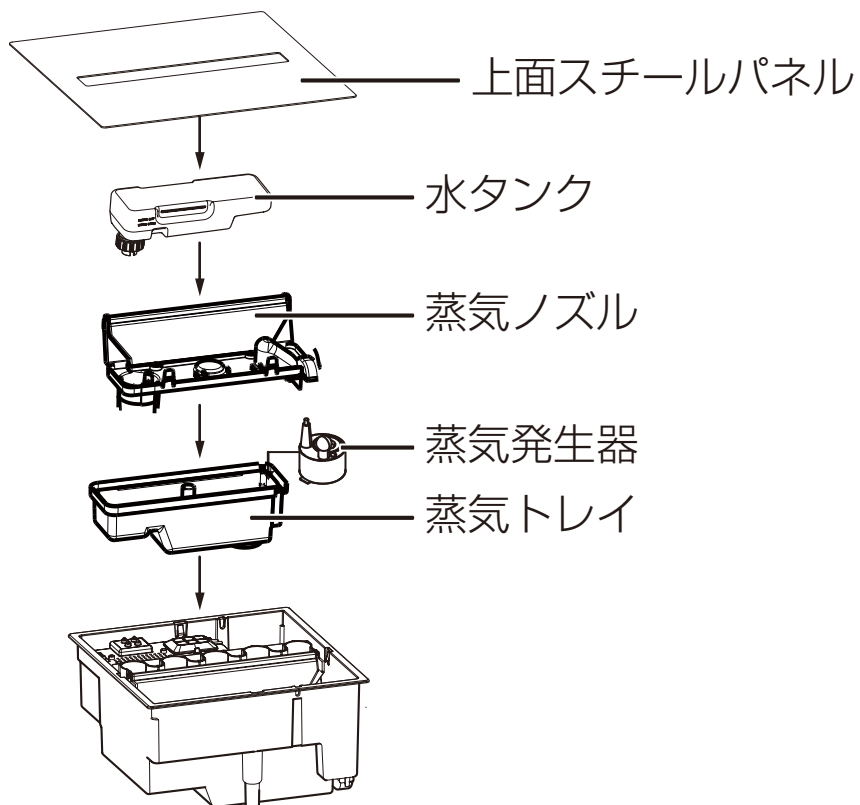
■お手入れの際、および水タンクの取り付け・取り外しの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の恐れがあります。



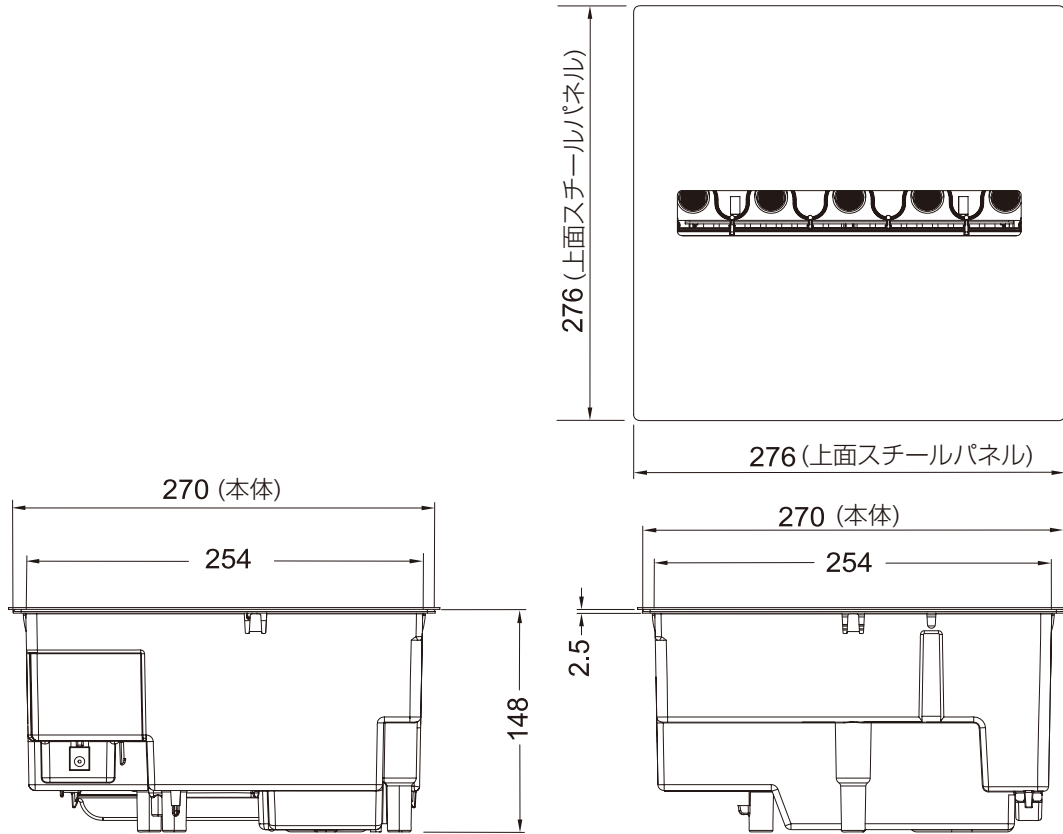
各部名称



内部部品名称

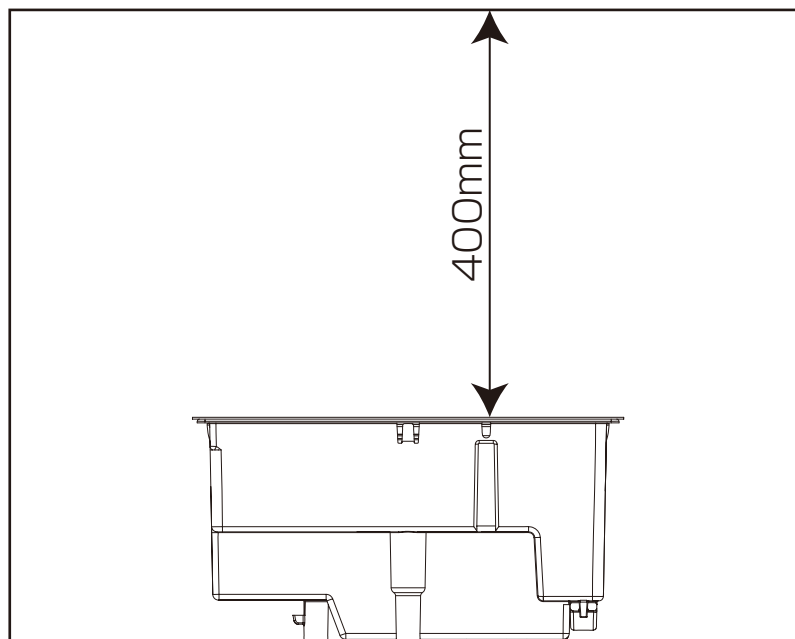


本体寸法 (mm)



離隔距離 (mm)

■上面は400mm以上のスペースを設けてください。

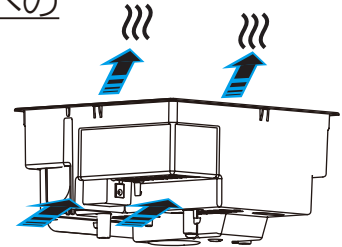


通気口およびガラスシールドに関して

重要

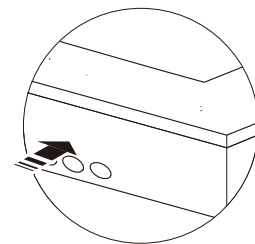
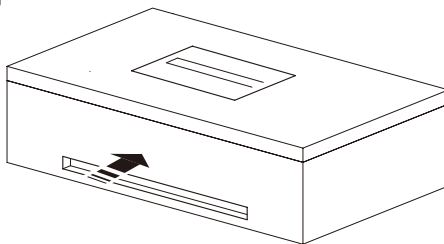
- 本体内部の電子部品の冷却と、より優れた炎効果の演出のために、本体底面の吸気部から上面スチールパネルのミスト噴出スリットに向けたスムーズな空気の流れが必須です。底面吸気部への十分な空気の流れを、必ず確保してください。

- ❗ 空気の対流の妨げになるため、深いカーペットなどの上に本体を設置しないでください。



- ❗ 意匠設計時は、CAS250J 1台につき最低100cm²以上の広さの通気口を本体底面側に必ず設けてください。
 - ※通気口のサイズが不十分な場合、本体内部の放熱が十分に行えなくなり電子部品の破損につながります。
 - ※通気口のサイズが不十分な場合、炎の高さが十分に得られない場合があります。

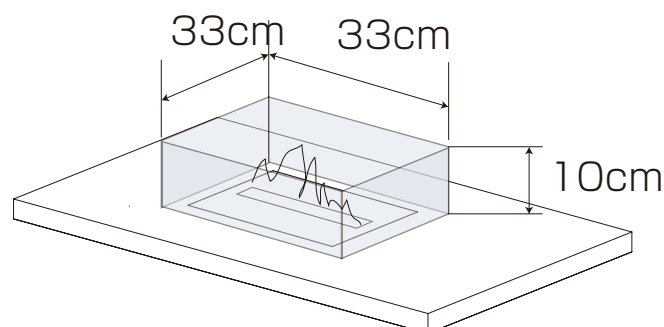
■通気口例



幅 20 cm x 高さ 5 cm の通気口 口径面積 10 cm² の通気口 x 10 個

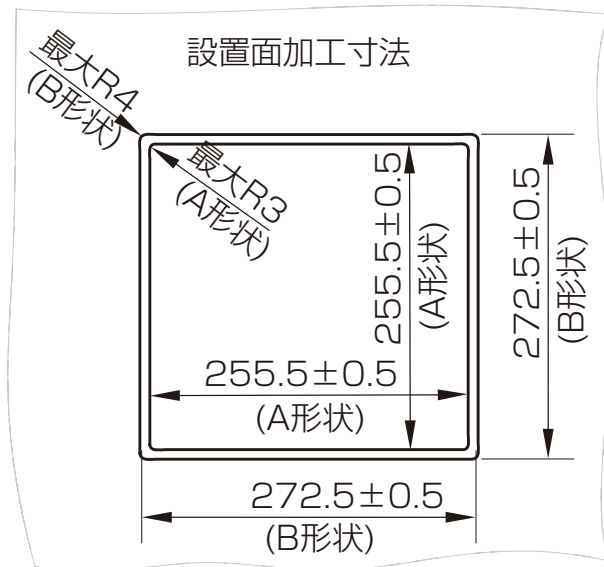
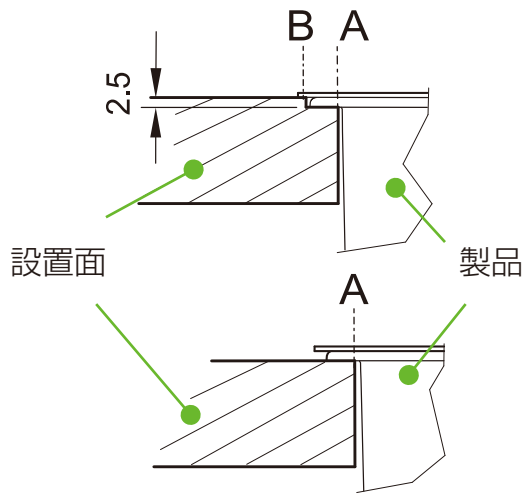
- ❗ 扉付近や人の通行がある場所に本体を設置した場合、風が炎効果に影響を及ぼすことがあります。このような場合は、W 33cm x D 33 cm x H 10cm 程度のガラスシールドを設置することを推奨します。

■ガラスシールド例



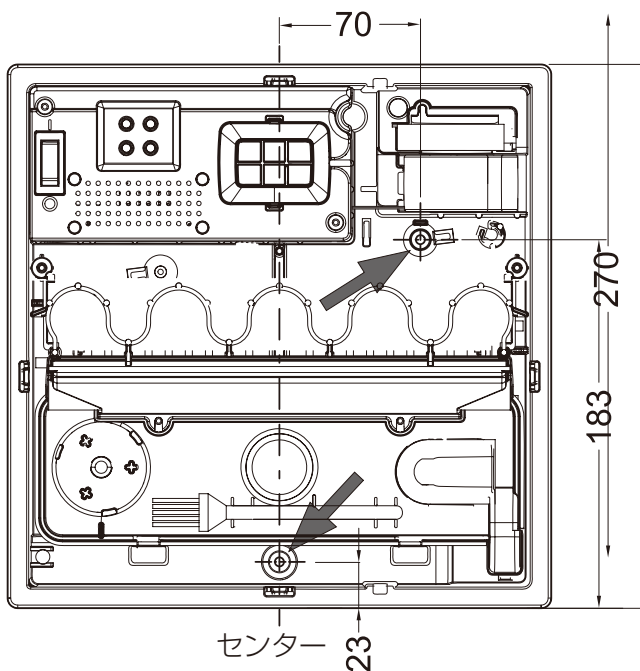
周囲仕上げに関して

■設置面に以下の開口部を設けることで、本体上面と設置面を同一平面上に近い状態で設置することができます。

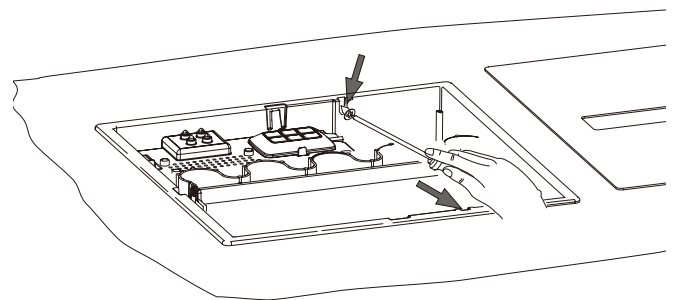


■本体底面および側面に、固定用のビス穴x2箇所が設けられております。必要に応じて、ビスで固定してください。
※固定用のビスは同梱されておりましたので、現地にて調達ください。

底面ビス穴x2箇所



側面ビス穴x2箇所

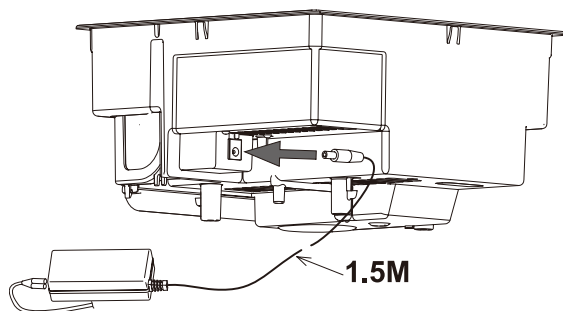


■必要に応じて、電源コード取り出し用にΦ16~20の穴を設けてください。
※通気孔を利用して電源コードを取り出しても構いません。

運転前準備

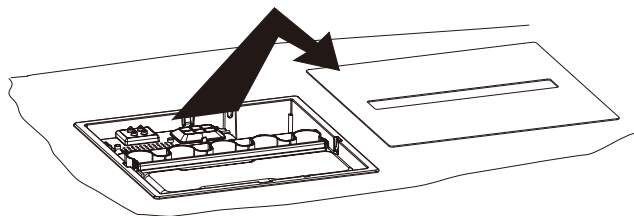
本体の設置

- 1 本体の電源スイッチが「切（○）」であることを確認し、ACアダプターのジャックを本体背面のジャックに差し込んで、本体を設置してください。

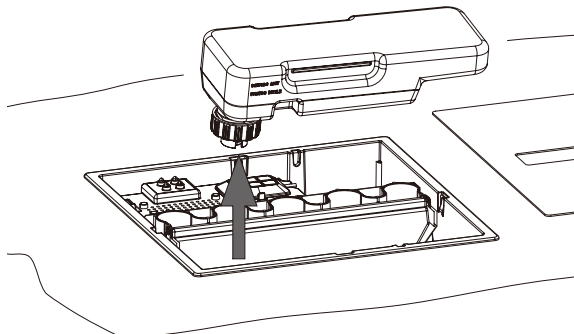


蒸気発生器の取付け

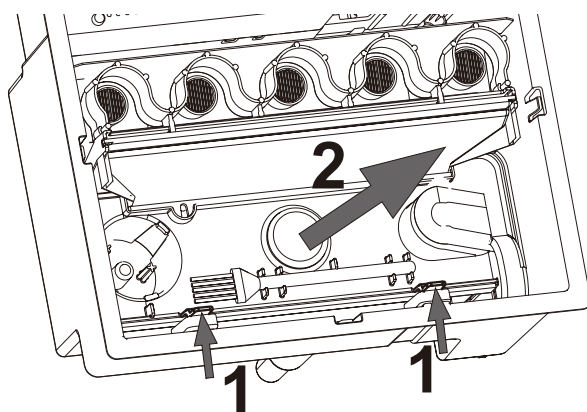
- 1 上面スチールパネルを取り外してください。



- 2 水タンクを上を持ち上げて取り出してください。

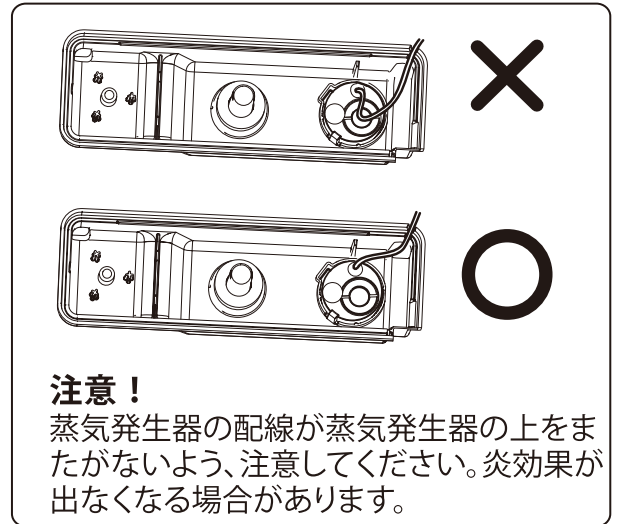
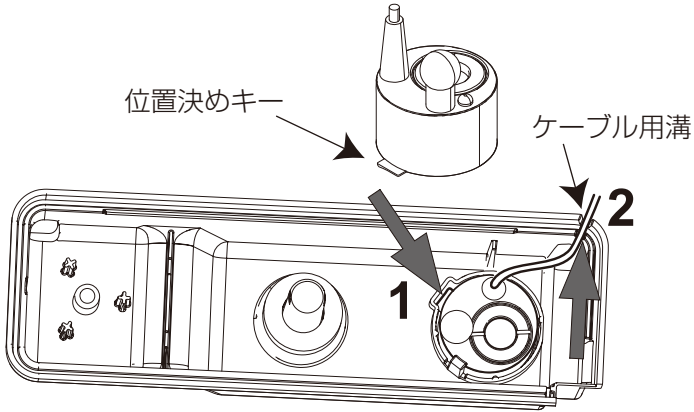


- 3 クリップ部を押しながら、蒸気ノズルを上方に持ち上げて取り出してください。

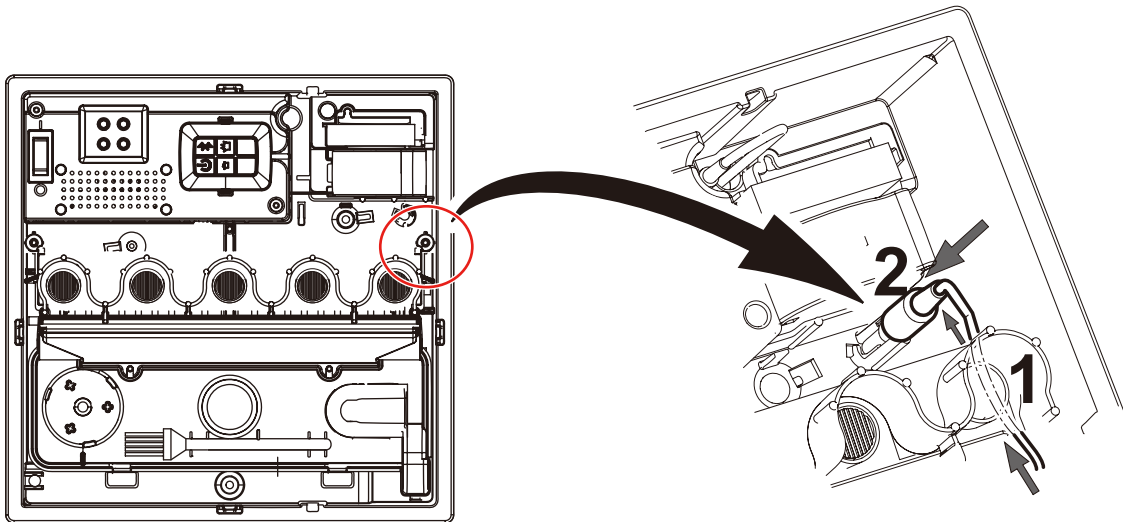


運転前準備

- ④ 蒸気トレイの中に同梱されている蒸気発生器を袋から取り出し、蒸気トレイに蒸気発生器をセットします。
必ず蒸気発生器の「位置決めキー」が所定の位置に収まるように取り付けます。
❗ 蒸気発生器のケーブルは必ず蒸気トレイのケーブル溝に通してください。



- ⑤ 蒸気発生器のケーブルをLED基板の下を通して、本体のオスの接続部に接続します。

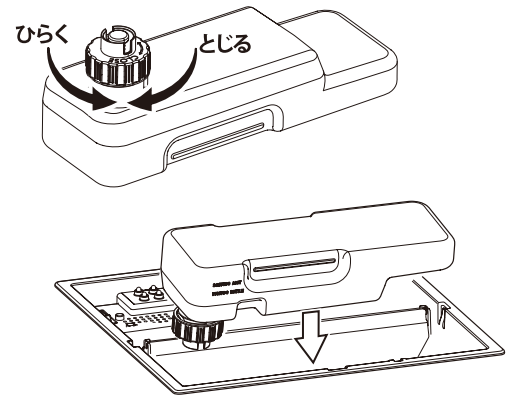


- ⑥ 蒸気ノズルを取り付けます。

運転前準備

水タンクへの水の補充

- ① 水タンクのキャップを開け、水を入れます。満水まで水道水を入れ、キャップを閉めてください。（閉めすぎに注意してください。）
- ② キャップ部を下に向け、水タンクの外側についた水滴をふき取ってください。蒸気トレイに水タンクをセットします。
- ③ 水タンクの水が蒸気トレイに移動した後に、再度 の手順で水タンクに水を入れ、蒸気トレイに水タンクをセットしてください。



※炎効果動作時間に関して

■水タンクのための水の補給の場合 (①②)

⇒炎効果の大きさにより6～8時間程度

■蒸気トレイに水が移動した後に再度水タンクに水を入れた場合 (①②③)

⇒炎効果の大きさにより8～10時間程度

⚠ 水を補充する場合は、水タンクに水を補充してから本体内部にセットしてください。蒸気トレイに直接水を補充しないでください。水位が高くなり過ぎ、炎効果が出にくくなる場合があります。

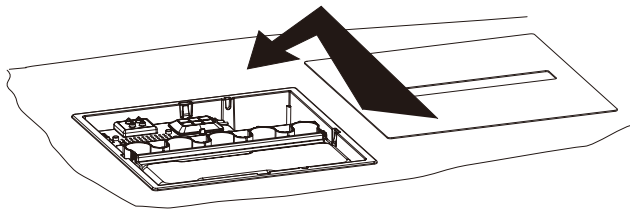
⚠ 本体内部に水をこぼさないようにご注意ください。

⚠ 不純物などがふくまれていない水道水をご使用ください。

⚠ 蒸留水や精製水は使用しないでください。

上面スチールパネルの取り付け

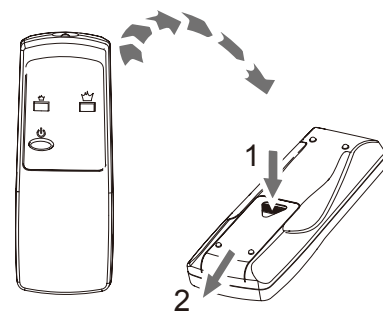
- ① 上面スチールパネルを取り付けてください。



運転のしかた

運転の開始

- 1 リモコンの背面カバーを外し、単4電池x2個を入れ、背面カバーを閉めてください。



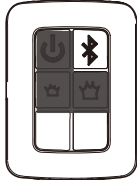
- 2 本体の電源を「入（I）」にすると、スタンバイ状態となります。次の機能一覧および操作説明をお読みいただき、運転を開始してください。

運転方法…機能一覧

ボタン名	機能	ボタン位置	詳細
リモコン-レーザーペアリング ボタン	リモコンとレーザーを接続します。	レーザー 	P12
炎効果 入 / 切 ボタン	炎効果の入 / 切を切替えます。	レーザー リモコン 	P13
炎効果調整 (大) ボタン	炎の高さを高くします。	レーザー リモコン 	P13
炎効果調整 (小) ボタン	炎の高さを低くします。	レーザー リモコン 	P13


運転のしかた

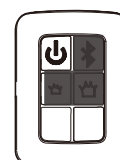
運転方法…リモコン-レシーバー接続設定

ボタン名	機能	ボタン位置
リモコン-レシーバーペアリングボタン	リモコンとレシーバーを接続します。	レシーバー 

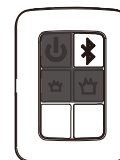
本体の電源スイッチを入（）にしてください。




レシーバーの“炎効果入/切ボタン（）”を押し、炎効果が動作している状態とする。



“リモコン-レシーバーペアリングボタン（）”を押し。



本体のLEDが点滅し、リモコンとのペアリング待ち状態となります。


リモコンの“炎効果入/切ボタン（）”を押し。



スタンバイ状態となれば、リモコンとレシーバーのペアリングは完了です。

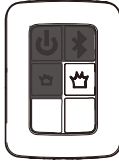
運転のしかた

運転方法…炎効果 入/切ボタン

ボタン名	機能	ボタン位置
炎効果 入 / 切 ボタン	炎効果の入 / 切 を切替えます。	レシーバー リモコン 


- “炎効果 入 / 切ボタン (⏻)” を押すことで、炎効果動作とスタンバイを切り替えます。
- ※炎効果動作を入りにしてから炎効果の演出が始まるまで、最大 45 秒程度かかります。

運転方法…炎効果調整 (大) ボタン

ボタン名	機能	ボタン位置
炎効果調整 (大) ボタン	炎の高さを 高くします。	レシーバー リモコン 

- “炎効果調整 (大) ボタン (☼)” を押すことで、炎効果が大きくなります。
- ※炎効果が最大となると、LED が一度点滅します。

運転方法…炎効果調整 (小) ボタン

ボタン名	機能	ボタン位置
炎効果調整 (小) ボタン	炎の高さを 低くします。	レシーバー リモコン 

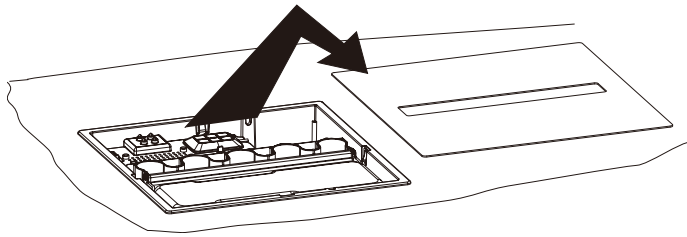
- “炎効果調整 (小) ボタン (☼)” を押すことで、炎効果が大きくなります。
- ※炎効果が最小となると、LED が一度点滅します。

- 水が不足すると、炎効果の運転は停止します。
- ※水不足による炎効果の運転停止15分前に、LEDが2回点滅し、水不足をお知らせします。

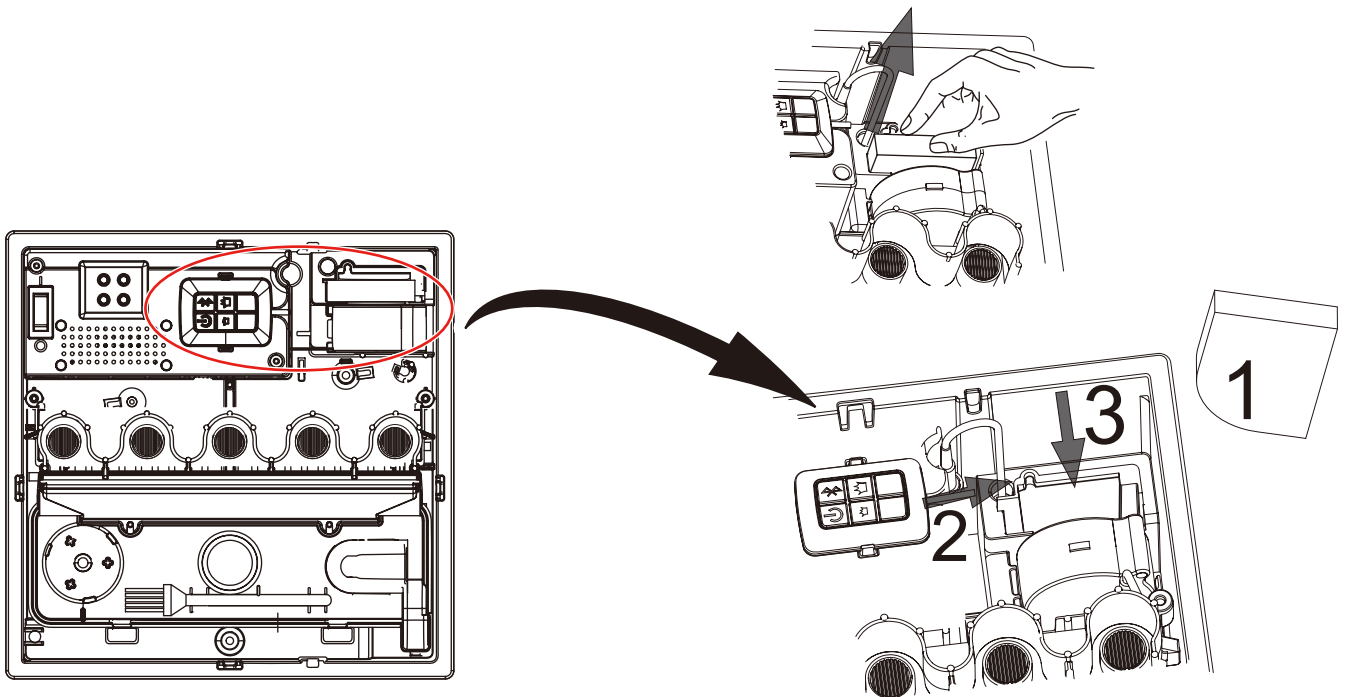
レシーバーの位置移動に関して

■必要に応じて、レシーバーは本体の外に移動させることができます。

① 上面スチールパネルを取り外してください。



② エアフィルターを外し、レシーバーを固定クリップから取り外し、エアフィルター用の穴を通して、ケーブルを下から巻き戻し、本体の外側に移動してください。
※レシーバーのケーブル長さは約100cmです。



③ エアフィルタと上面スチールパネルを元に戻してください。

お手入れのしかた

⚠ 必ず電源プラグをコンセントから抜き、各部が十分に冷えてから行ってください。

外装のお手入れ

- ・柔らかな布に水を含ませ、硬く絞ってから拭いてください。
- ・クレンザー・シンナー等は表面を傷つけます。

内部のお手入れ (次のページのイラストをご参照ください。)

- ❗ 2週間以上ご使用にならない場合は、内部に残っている水を全て捨ててから、保管してください。
- ❗ 2週間ごとに以下の部品を付属のブラシで清掃してください。内部の残留水を廃棄する際、本体内部に水をこぼさないように注意してください。

①水タンク及びキャップ

- ・水タンク本体は、きれいな水道水ですすいでください。汚れがある場合は薄めた中性洗剤などを入れ、キャップをしてよく振ってください。その後、洗剤が残らないようによくすすぎます。
- ・キャップは裏側のゴムのリング部などに異物が付着しないように、付属のブラシで清掃してください。

②蒸気トレイ・蒸気ノズル

- ・次ページの図を参考に付属のブラシで清掃してください。

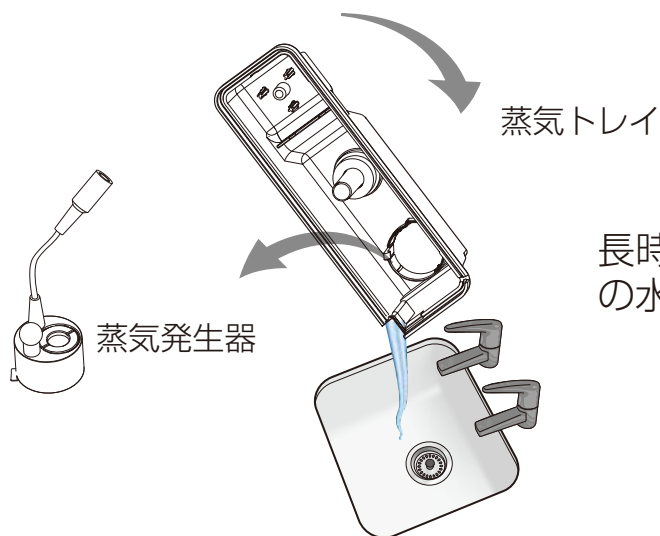
③モーターエアフィルター

- ・次ページの図を参考にエアフィルターを取り外した後、水で洗ってください。よく乾いた布で水分を取り除き完全に乾かしてから取付けてください。この際、フィルターの向きに注意してください。（黒い面が外側です。）

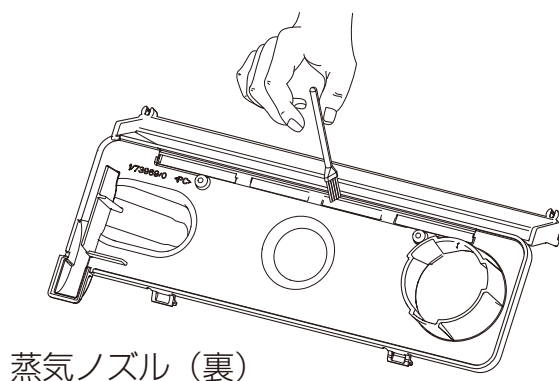
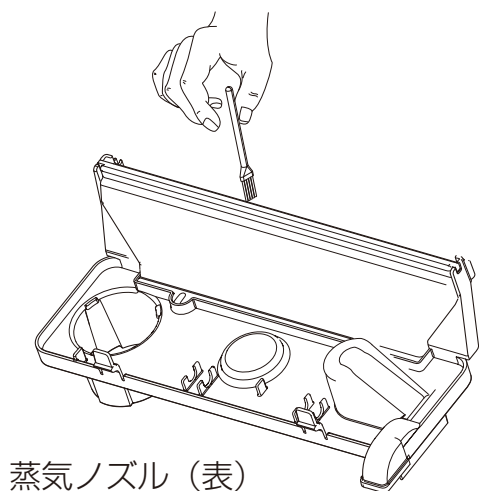
④蒸気発生器

- ・蒸気発生器の上面を付属のブラシで清掃してください。

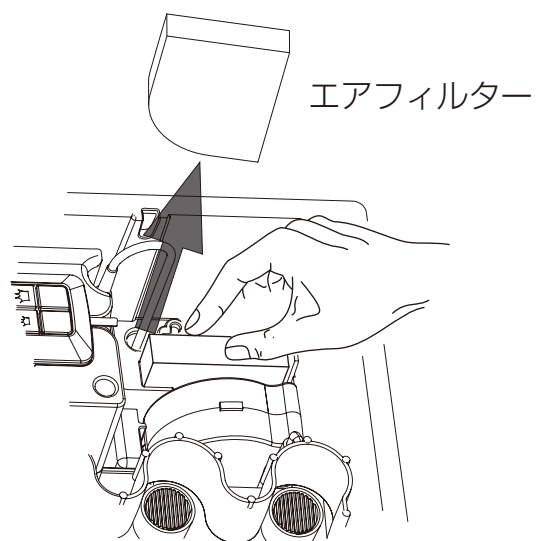
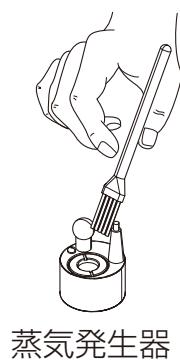
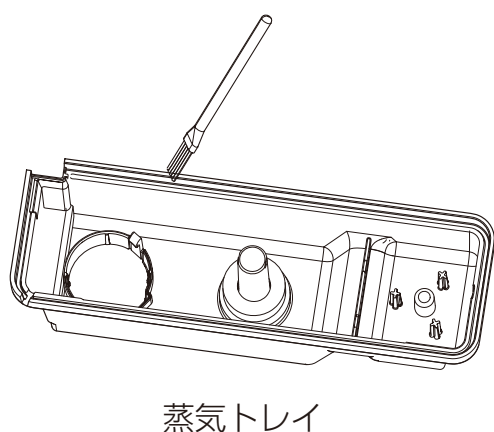
お手入れのしかた



長時間使用しない場合は水タンクおよび蒸気トレイの水を捨ててください。



図を参考に溝部を中心にブラシで清掃します。



図を参考に溝部や、蒸気発生器の上面部の溝をブラシで清掃します。

フィルターを水洗いしてください。黒い面が外側です。

運転上のご注意

高温注意

- ①蒸気吹き出し口の内部は対流発生用のヒーターが入っています。
幼児などが触れることのないようご注意ください。
- ※本体上面は蒸気出口となっておりますので、運転中は決してふさがないでください。

保管のしかた

- 1 ホコリの少ない、乾燥した場所で保管してください。
- 2 内部の水は全て廃棄し、乾燥させた状態で保管してください。

電源コードの点検

- 1 時々ご使用中に電源コードの安全点検を行なってください。
- 2 下記の症状の場合には使用を中止してください。発火の恐れがあります。
 - ①電源コードが熱い。
 - ②電源コードを動かすと電源が切れたり入ったりする。
- 3 修理は必ず販売店または弊社へ依頼してください。
誤った修理は火災につながります。

故障診断

症 状	原 因	点 検 ・ 処 置
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ① 電源プラグの外れ ② ブレーカー落ち。 ③ 電源スイッチが「切」状態になっている。 ④ 炎効果が「切」になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 正しく差し込んでください。 ② 原因を調べてから復旧させてください。 ③ 電源スイッチを「■」にしてください。 ④ 11ページを参考に、炎効果を「入」にしてください。
異臭	<ul style="list-style-type: none"> ① 使い始めには臭いを感じることがあります。 ② 炎効果時には水の成分によって臭いを感じることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 1日程度のご使用で解消します数日経っても解消しない場合は販売店または弊社へご連絡ください。 ② タンク部などを清掃した後きれいな水道水をご使用ください。
異音	<ul style="list-style-type: none"> ① 音がする。 電源を入れた後、及び切った後に温度変化による部材の膨張・収縮により音がする場合があります。この場合は故障ではありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 左記に当てはまらない場合、または連続音がする場合には販売店または弊社へご連絡ください。
電源プラグが熱い	<ul style="list-style-type: none"> ① 電源プラグの異常→使用中止 ② コンセントの異常→使用中止 触っていることが出来ないほど熱い場合には電源プラグまたはコンセントの故障が考えられます。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 販売店または弊社へ修理依頼をしてください。 ② 電気工事店へ修理依頼してください。
電源コードが熱い コードを動かすと 電源が入切する	<ul style="list-style-type: none"> ① 電源コードの半断線 連続して触れないほど熱い、または電源コードを動かすと電源が入ったりする場合はただちにご使用を中止してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 販売店または弊社へ修理依頼をしてください。
ブレーカーが働く	<ul style="list-style-type: none"> ① 使用電力量が多すぎる。 ② 契約電力以上の電力を使用 	<ul style="list-style-type: none"> ① 接続機器を減らしてください。又は契約電流を上げてください。

故障診断

症 状	原 因	点 検 ・ 処 置
炎効果が開始 されない	<ul style="list-style-type: none"> ① 電源プラグの外れ。 ② 蒸気トレイの水不足(水位が低い) ③ 蒸気発生器のコネクターが正しく取り付けられていない。 ④ 蒸気発生器が正しく取付けられていない、又は倒れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① コンセントに正しく差し込んでください。 ② タンクに水を入れ、蒸気発生トレイへ水を供給してください。 ③ 8・9ページを参考に取り付けてください。 ④ 8・9ページを参考に取り付けてください。
炎効果の高さが低い	<ul style="list-style-type: none"> ① 炎効果の設定が小さく設定されている。 ② 蒸気発生器の上面の溝部が汚れている。 ③ 蒸気発生器のケーブルが蒸気発生器の上面の上をまたいでいる。 ④ 蒸気トレイの水の水位が高すぎる。(※水タンクからではなく蒸気トレイに直接水を補充した場合、蒸気トレイの水位が高くなり過ぎ、炎効果が出ていく場合があります。) ⑤ 通気口が塞がれているか、十分ではないために、対流がスムーズに行われていない。 ⑥ エアフィルターの汚れ。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 炎効果の設定を大きくしてください。 ② 付属のブラシで上面の溝部を清掃してください。 ③ 9ページを参考に、ケーブルを所定の溝の通してください。 ④ 蒸気トレイの水を空にしてから再度水タンクで蒸気トレイに水を補充してください。 ⑤ 対流を塞いでいるものを移動させてください。スムーズな対流には100cm²/台の通気口が必要です。(6ページ参照) ⑥ エアフィルターを掃除してください。
炎効果の高さが高い	<ul style="list-style-type: none"> ① 炎効果の設定が高く設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 炎効果の設定を小さくしてください。設定を変更して、炎効果の高さが変化するまで数秒程度かかります。
ランプがつかない 炎効果が暗い	<ul style="list-style-type: none"> ① LEDが切れている。 ② 蒸気トレイの水不足 ③ 蒸気発生器が接続されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 販売店または弊社へ修理を依頼してください。 ② 水タンクに水を入れ、蒸気発生トレイへ水を供給してください。 ③ 蒸気発生器を接続してください。
リモコンが反応しない	<ul style="list-style-type: none"> ① リモコンの電池切れ。 ② レシーバーの配線外れ。 ③ レシーバーがリモコンを認識していない。 ④ 他Blue tooth機器との干渉。 	<ul style="list-style-type: none"> ① リモコンの電池を交換してください。 ② レシーバーの配線を接続してください。 ③ 12ページを参考に再度ペアリングを行ってください。 ④ 干渉しない様、他機器を離してください。

上記の内容を確認しても原因が不明な場合は、販売店様もしくはお客様相談窓口へお問い合わせください。
電源コードが破損した場合は、お客様相談窓口にて修理をお申し付けください。お客様ご自身による修理は、発火や感電、負傷などの原因となり、大変危険です。

アフターサービス

1. 使用中に異常が生じた場合には、直ちにスイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い上げの販売店または弊社へご相談ください。
2. 保証期間内の修理については、保証書に基き、無料でおこないます。
3. 保証期間経過後の修理については、修理により機能が維持できる場合にはお客様の要望により有料で修理いたします。
4. この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
5. 販売店または弊社へご相談される場合には、下記の内容をご連絡ください。
 - ①製品名、品番
 - ②症状
 - ③お買上年月日
 - ④お客様名、ご住所、電話番号

お客様相談窓口

フリーダイヤル



TEL 0120-583-570 FAX 0295-55-8523

株式会社バークマン [受付時間：平日9：00～17：00]

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

(株)バークマンは、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を下記のとおり、お取り扱いします。

- ①お客様の個人情報を、本商品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。なお、修理やその確認業務を協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供しません。
- ②お客様の個人情報を、適切に管理します。
- ③お客様の個人情報に関するお問合せは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

仕 様

製 品 名	電気暖炉カセット 250J
型 番	CAS250J
電 源	本体：24V DC 専用電源アダプター：100V AC 50/60Hz
消 費 電 力	64W
外 形 寸 法	幅270mm × 高148mm × 奥行270mm (上面スチールパネルを除く)
水タンク容量	0.6リットル
付 属 品	清掃用ブラシ(1本:蒸気ノズルに取り付け)
生 産 国	アイルランド